

石川県が2011年1月、障害者2,297人に実施したアンケート調査で、46.5%が障害に対する周囲の理解度に関して「進んでいるが不十分」、「全く進んでいない」と回答した。2005年の前回調査の52.9%を下回ったが、理解度不足と感じている障害者は依然として多いようだ。

調査は、今年度末までの「いしかわ障害者プラン2007」の改定の基礎資料とするため、県内在住の障

害者の約5%を無作為に抽出して実施した。

就労状況を尋ねた質問で「働いている」と答えたのは、知的障害者が42.3%と最も高く、身体障害者21.9%、精神障害者は19.9%と開きがあった。年収150万円以下の割合は知的障害者が79.2%、精神障害者69.4%、身体障害者が55.8%の順だった。

(北國新聞・金沢 2011年12月23日)